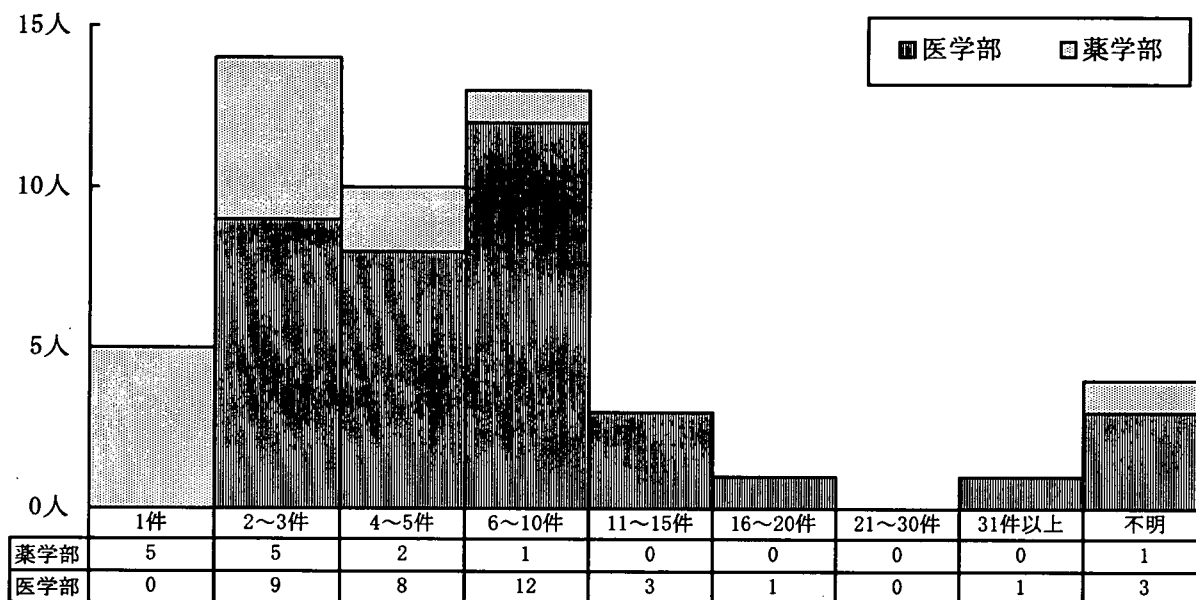


## ②件数および金額

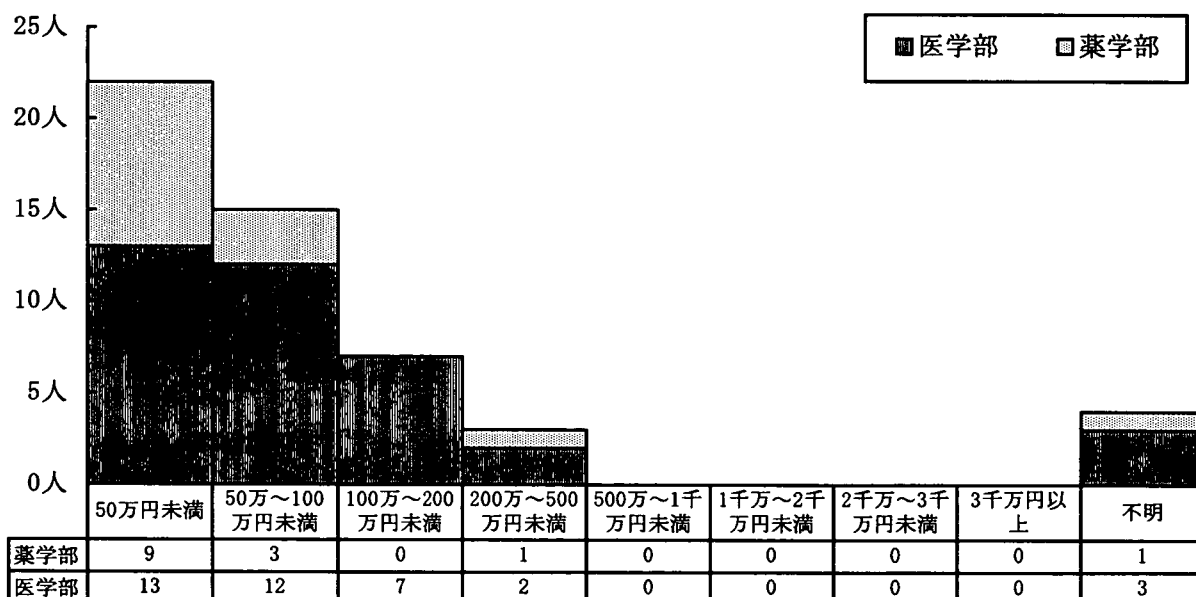
件数については「2~3件」が14人で多くなっている。「6~10件」が13人でほぼ同じである。薬学部は3件までが多くなっているが、医学部では「6~10件」が最も数が多くなっている。

図 74：総額と件数をお答え下さい。(2005年度講演料)



金額については、「50万円未満」が22件で多くなっており、100万円未満の割合が多い。全ての回答者が500万円未満となっている。

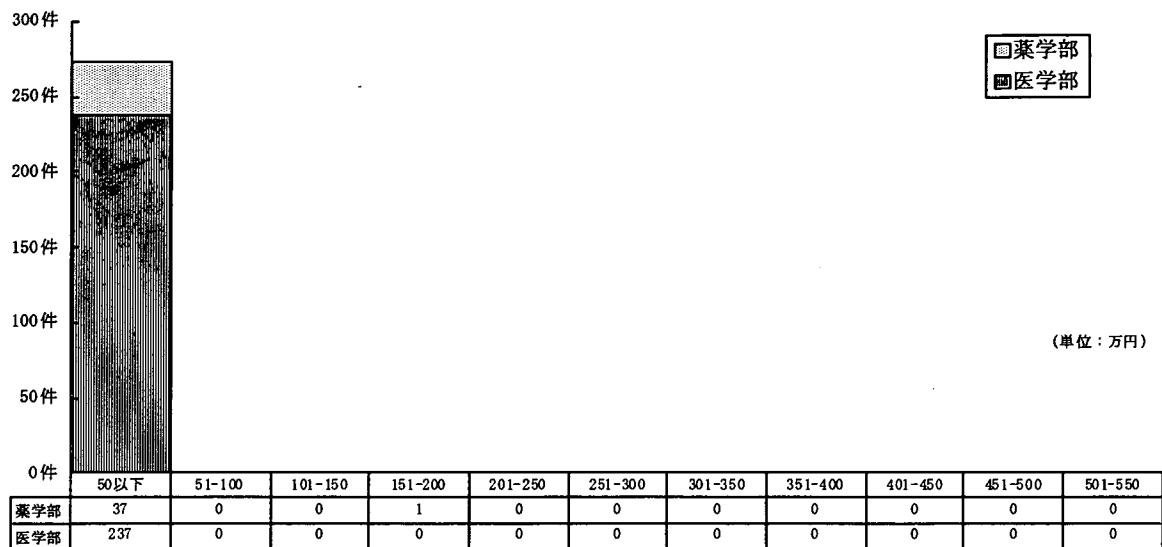
図 75：総額と件数をお答え下さい。(2005年度講演料)



③1 件当たりの金額と件数

1 件当たりの金額では「50 万円以下」がほとんどである。

図 76：1 件当たりの金額及びその件数を記載してください（1 万円以下は切り上げ）。

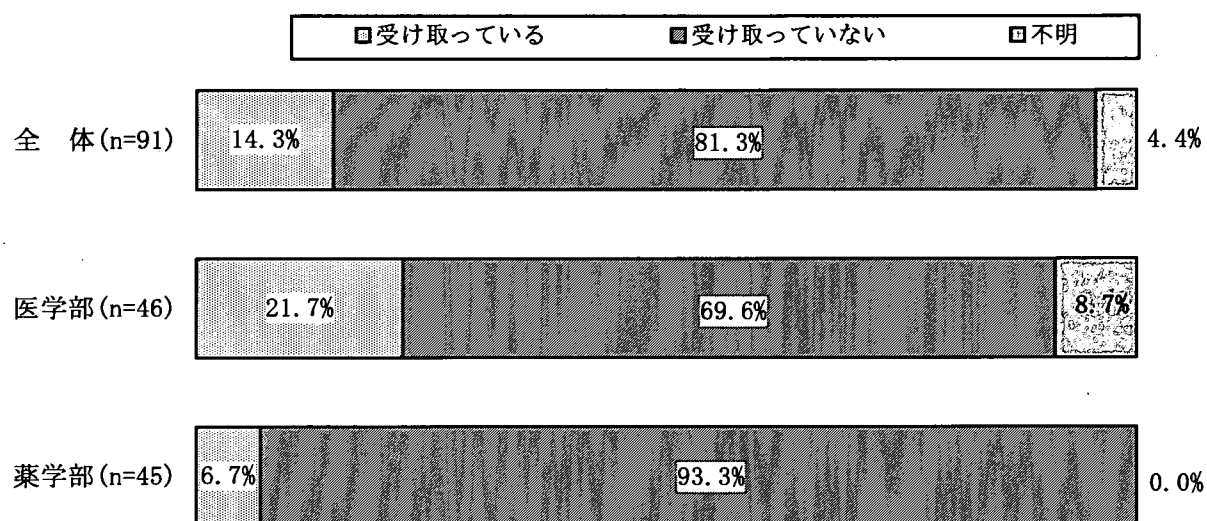


## (6) 2005 年度の製薬企業からの原稿料について

### ①受領の有無

製薬会社からの原稿料については、「受け取っている」14.3%に過ぎない。受領の有無については、学部で差がある。医学部では21.7%が受け取っているが、薬学部では6.7%と1割に満たない。

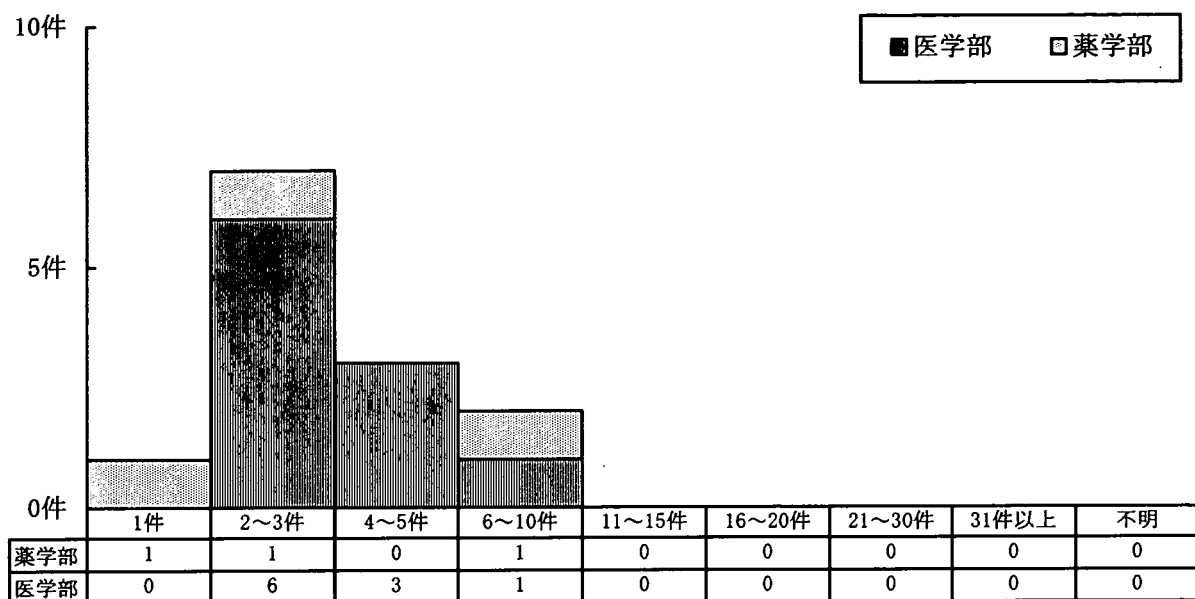
図 77：2005 年度に製薬企業より原稿料を受け取っていますか。



## ②件数および金額

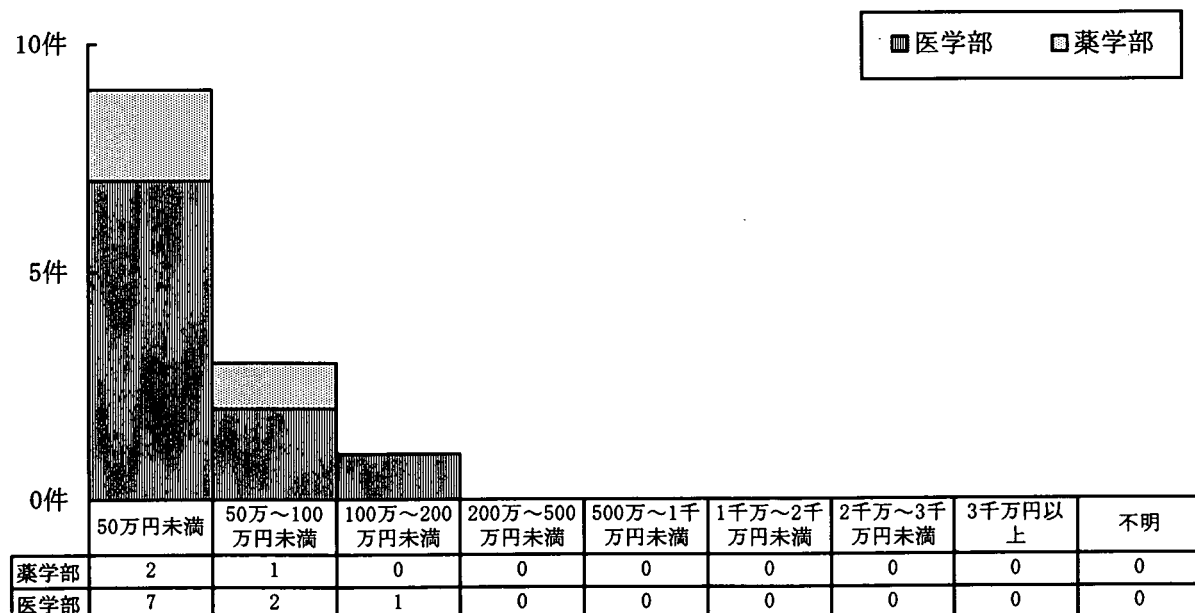
件数については「2～3件」が7人で最も多く、すべてが10件未満となっている。

図 78：総額と件数をお答え下さい。(2005年度原稿料)



金額については、「50万円未満」が9件で多くなっており、100万円以下の割合が多く、101万円以上は1人のみとなっている。

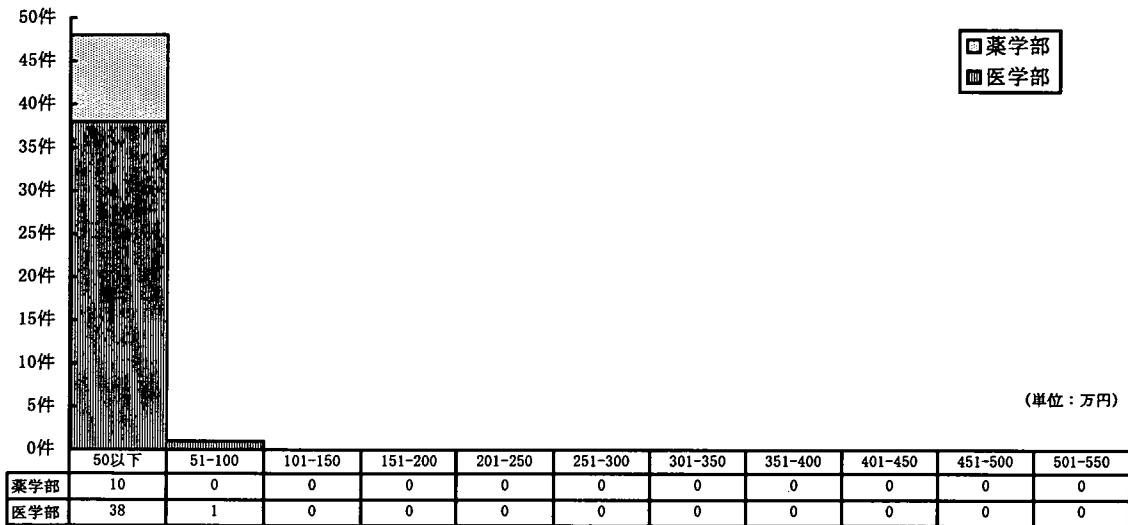
図 79：総額と件数をお答え下さい。(2005年度原稿料)



### ③1 件当たりの金額と件数

1 件当たりの金額は「50 万円以下」が 48 件とほとんどを占めている。51 万円以上は 1 人のみである。

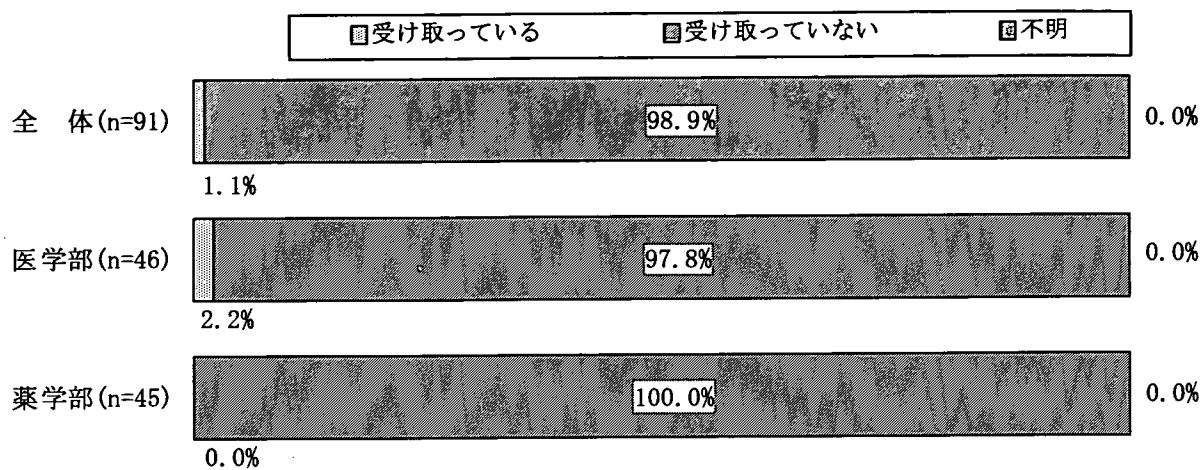
図 80：1 件当たりの金額及びその件数を記載してください（1 万円以下は切り上げ）。



### (7)2005 年度の製薬企業からの特許使用料について

特許使用料については、医学部の 1 人のみが受け取っている。

図 81：2005 年度に製薬企業より特許使用料を受け取っていますか。



### ②件数および金額

図 82：総額と件数をお答え下さい。(2005 年度特許使用料)

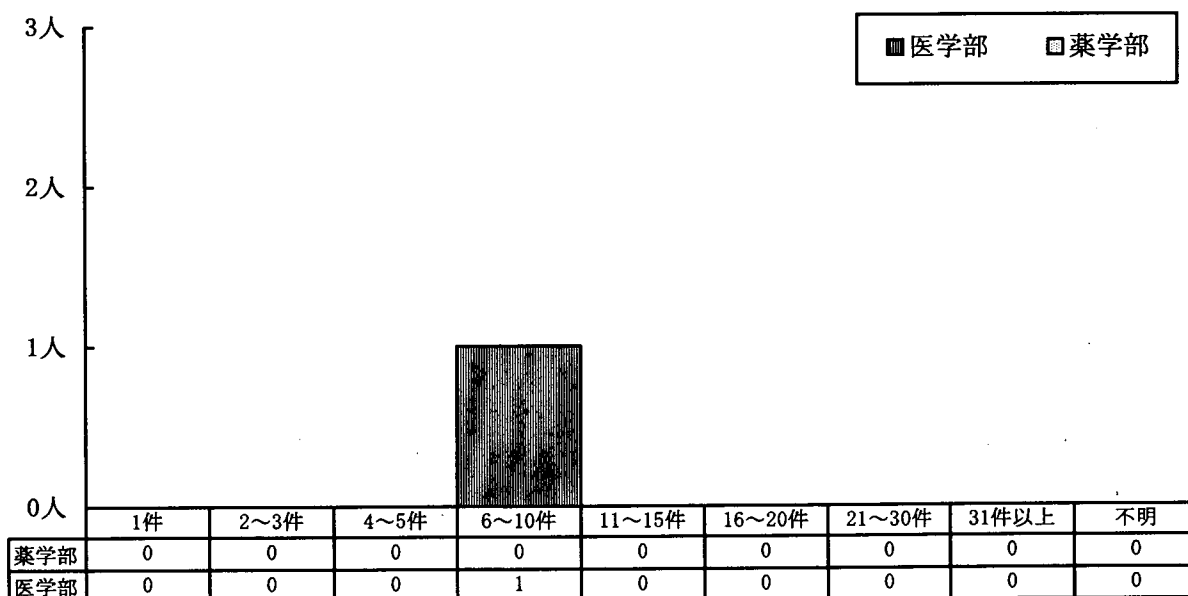


図 83：総額と件数をお答え下さい。(2005 年度特許使用料)

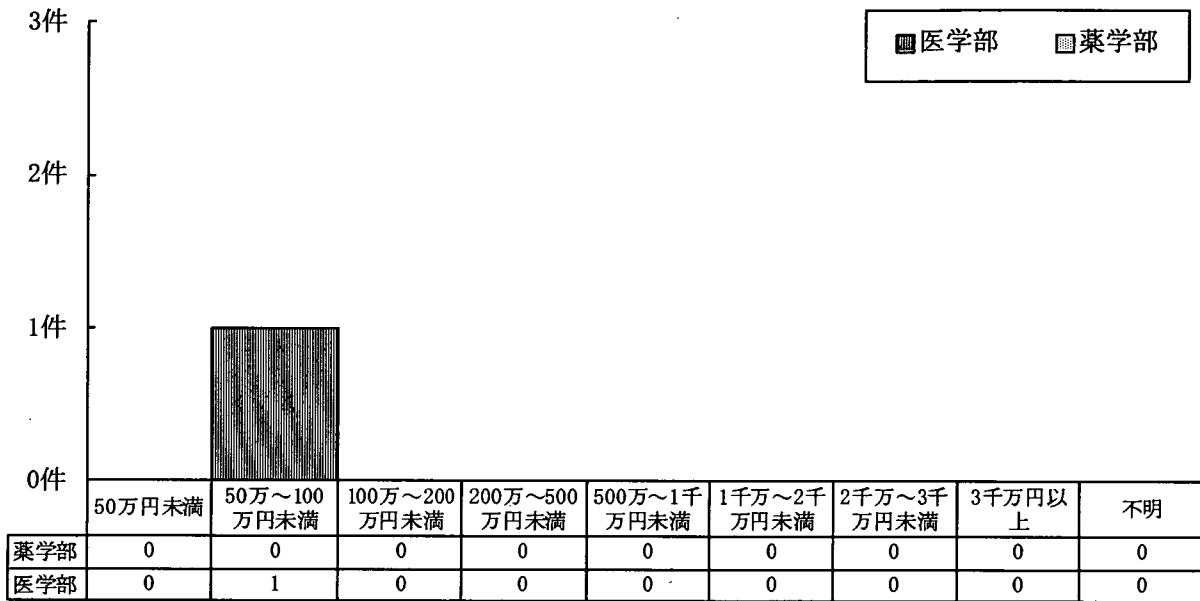
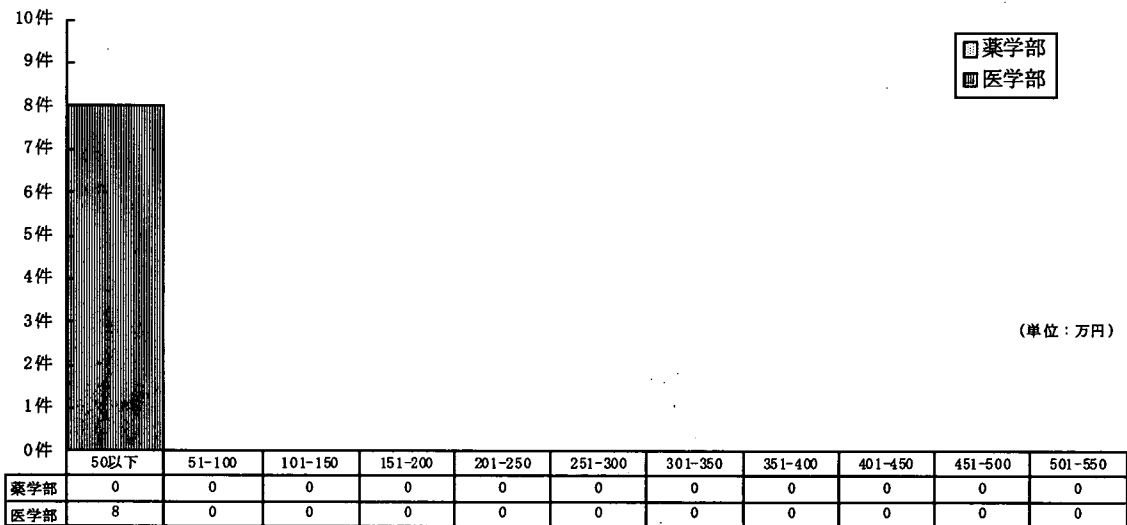


図 84：1 件当たりの金額及びその件数を記載してください（1 万円以下は切り上げ）。

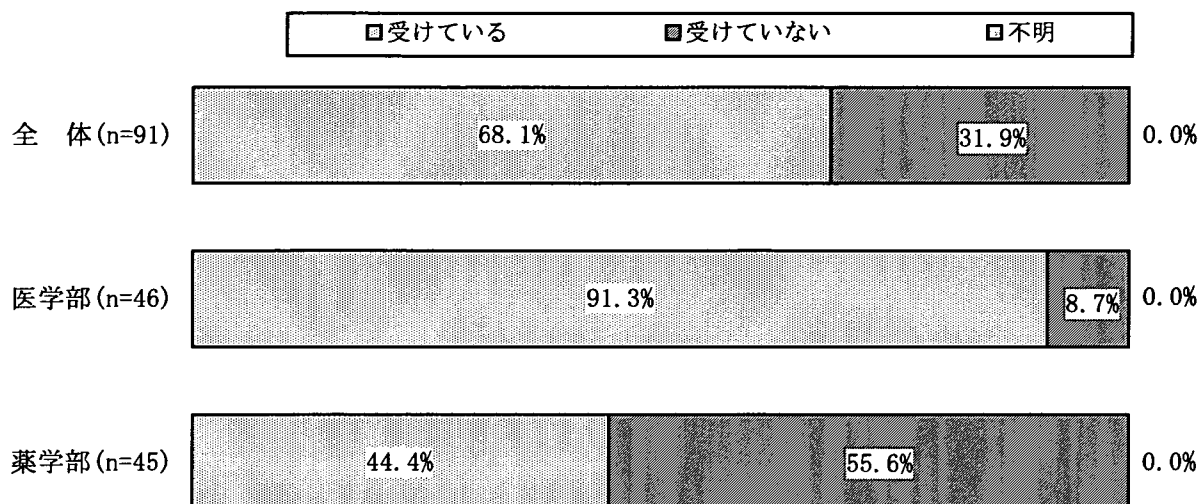


## (8)2006 年度の製薬企業からの奨学寄付金について

### ①受領の有無

製薬会社からの奨学金については、全体で 68.1%が「受けている」としている。2005 年度同様、受領の有無については、学部で差があり、医学部では 91.3%が受けているのに対して、薬学部では 44.4%にとどまっている。

図 85 : 2006 年度に製薬企業からの奨学寄付金を受けていますか。

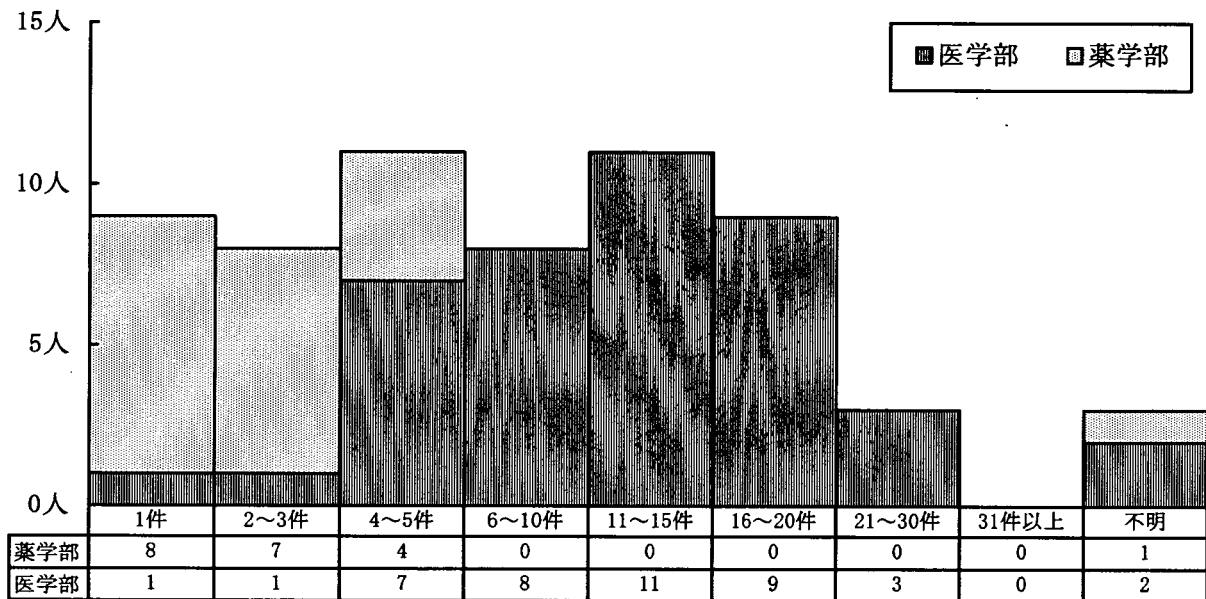




## ②件数および金額

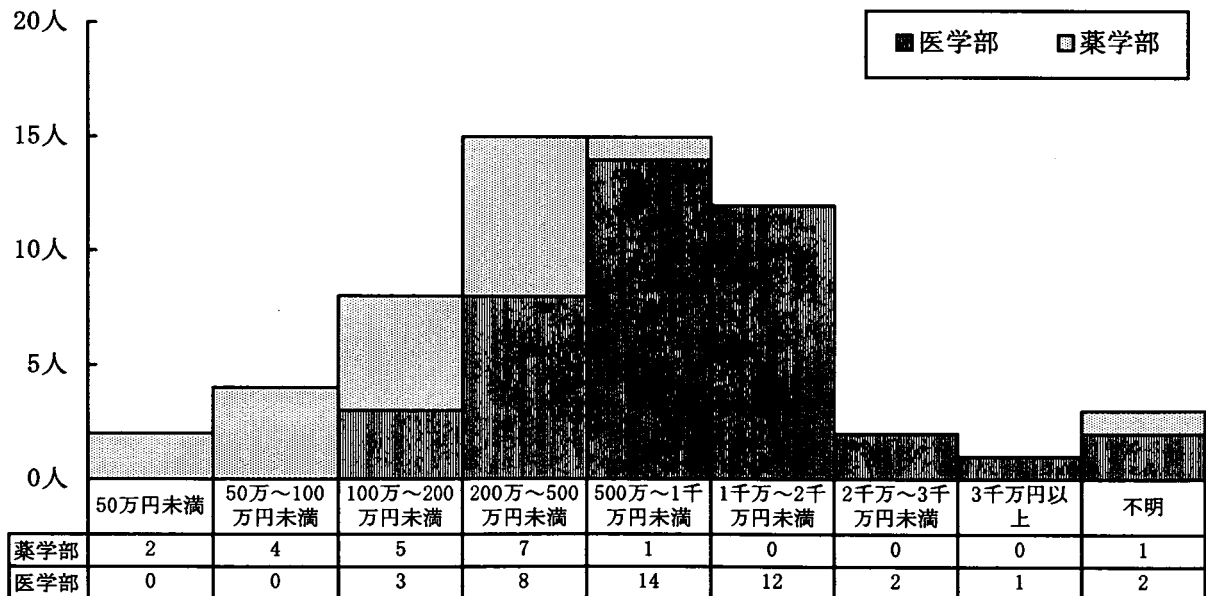
受領した件数をみると「4～5件」と「11～15件」が11名で多い。薬学部では「1件」（8名）「2～3件」（7名）が多く、医学部では「11～15件」をピークに分布の幅が広がっている。

図 86：総額と件数をお答え下さい。（2006年度奨学寄附金）



金額については「200万～500万円未満」と「500万～1千万円未満」の割合が高くなっている。医学部で比較的高い金額が多くなっており、薬学部では1千万円以上の金額は回答が見られない。

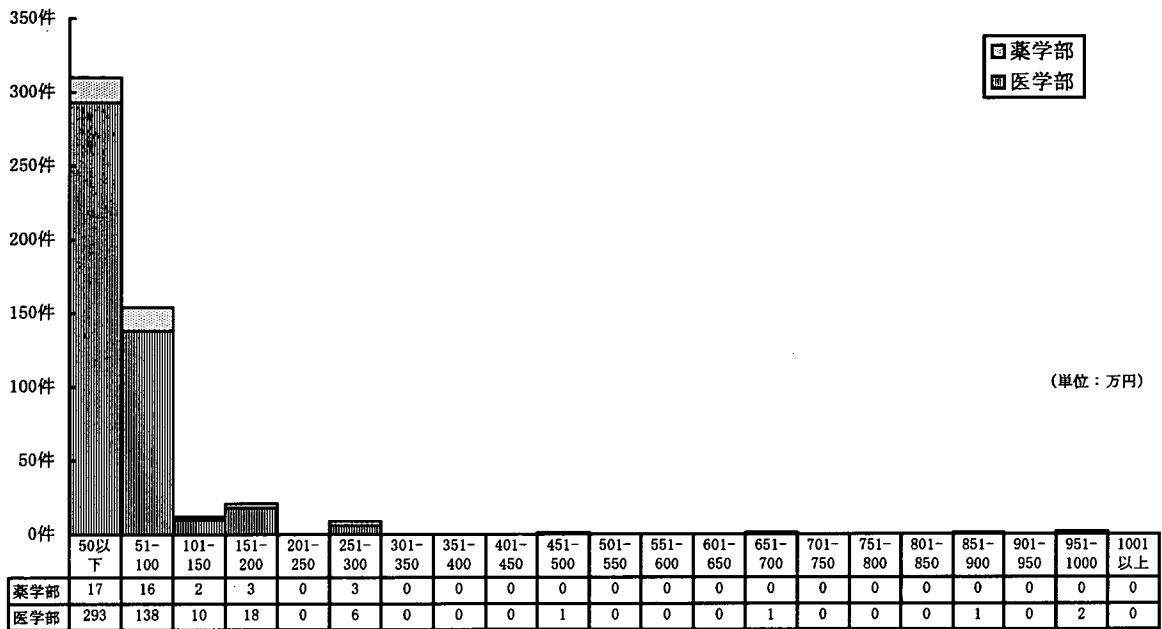
図 87：総額と件数をお答え下さい。（2006年度奨学寄附金）



### ③ 1件当たりの金額と件数

金額と件数についてみると、「50万円以下」が310件で最も多い。医学部、薬学部を問わずこの傾向は同じであり、1件当たりの金額は比較的低くなっている。

図 88：1件当たりの金額及びその件数を記載してください（1万円以下は切り上げ）。



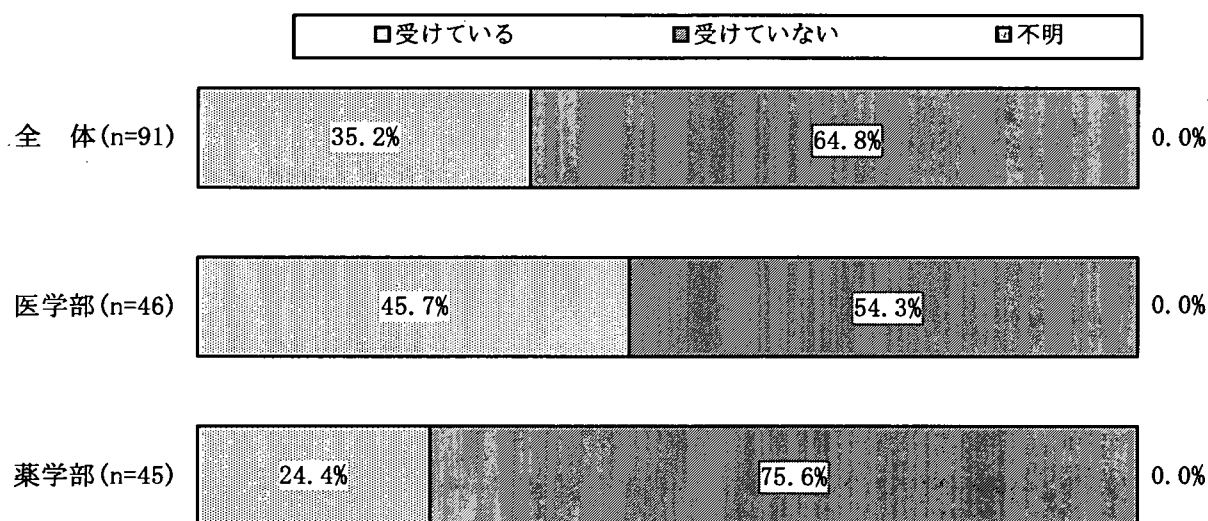
## (9)2006 年度の財団・社団等からの研究助成金について

### ①受領の有無

財団・社団からの研究助成金については、「受けている」が 35.2%、「受けていない」が 64.8% となっている。

学部別では医学部で比較的受けている割合が高いが、それでも 45.7%と半数程度であり、製薬会社からの奨学寄附金より低い割合にとどまっている。

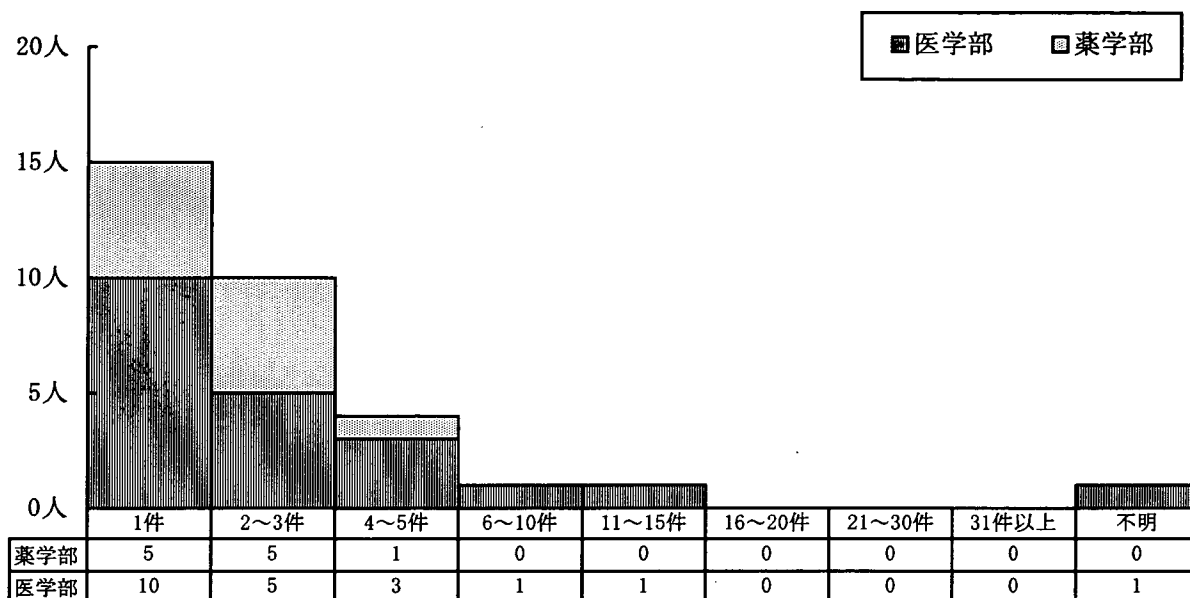
図 89：2006 年度に財団・社団等の団体からの研究助成金を受けていますか。



## ②件数および金額

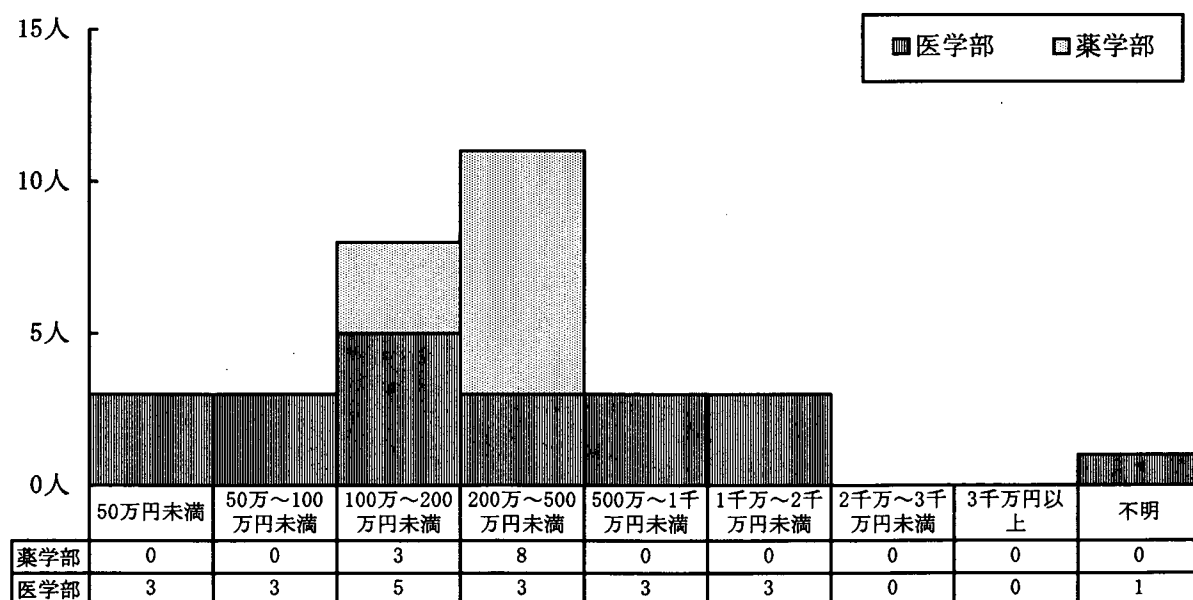
受領した件数をみると「1件」が15人で最も多くなっている。「2～3件」も10人で多い。ほとんどが5件以下となっている。

図 90：総額と件数をお答え下さい。(2006年度研究助成金)



金額についてみると「200万～500万円未満」が11件で最も多い。学部別では薬学部で「200万～500万円未満」に集中しており、医学部では分布がやや広がっている。

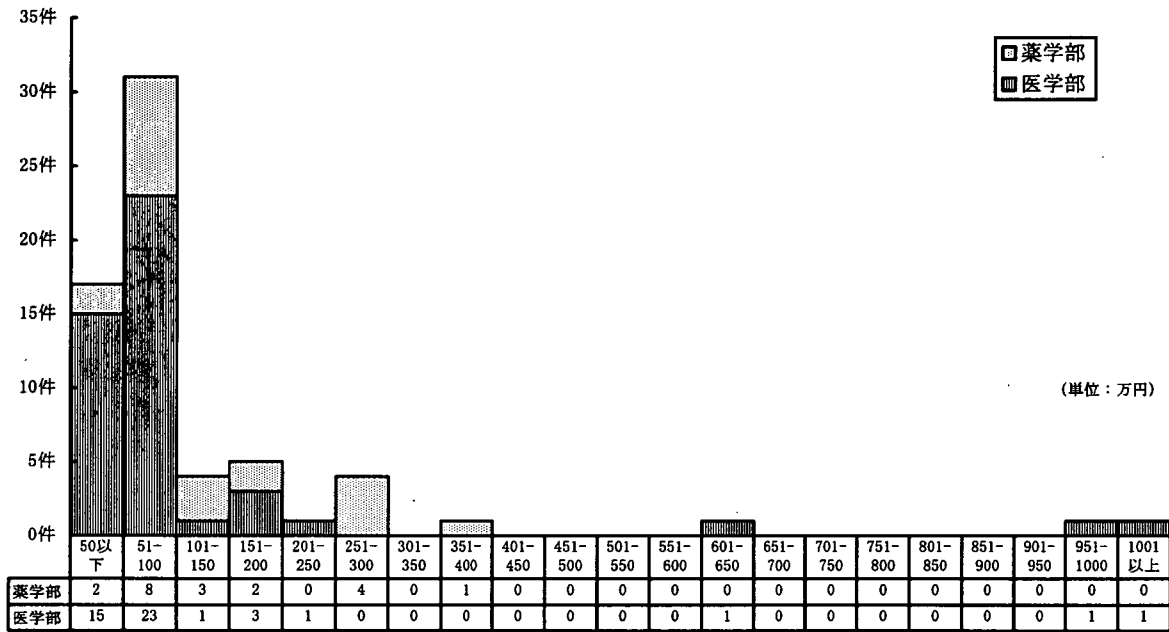
図 91：総額と件数をお答え下さい。(2006年度研究助成)



### ③1件当たりの金額と件数

1件当たりの金額では「51～100万円」が31人で最も多くなっている。多くは100万円以下であり、2005年度同様、医学部・薬学部での大きな違いもみられない。

図 92：1件当たりの金額及びその件数を記載してください（1万円以下は切り上げ）。

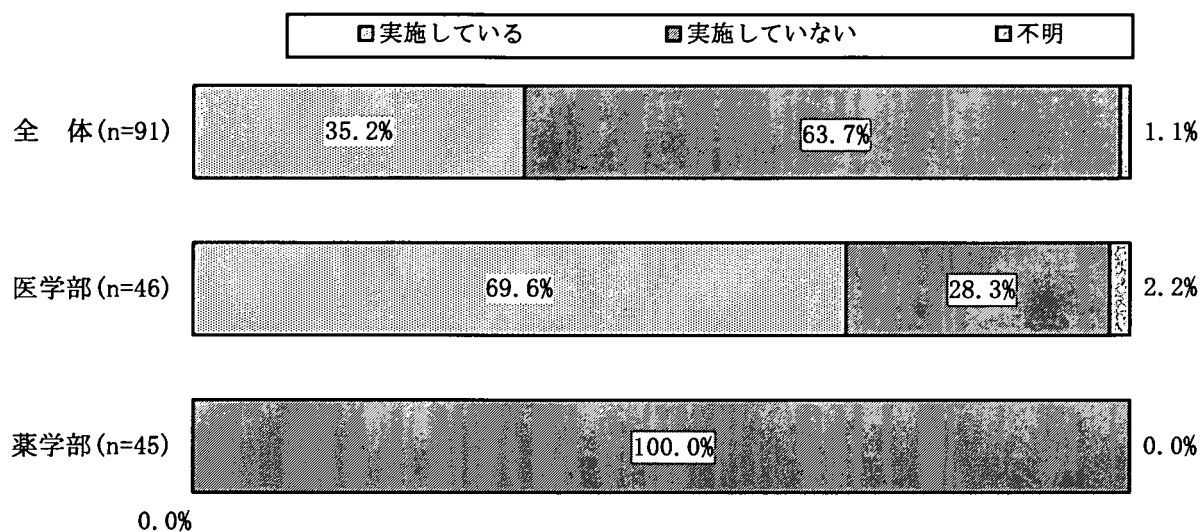


(10) 2006 年度の委託研究としての臨床研究について

①受領の有無

臨床研究については全体では 35.2%が実施している。しかしながら 2005 年度同様、薬学部で臨床研究をしているとの回答はなく、医学部のみで行なわれている。その割合は 69.6%となっている。

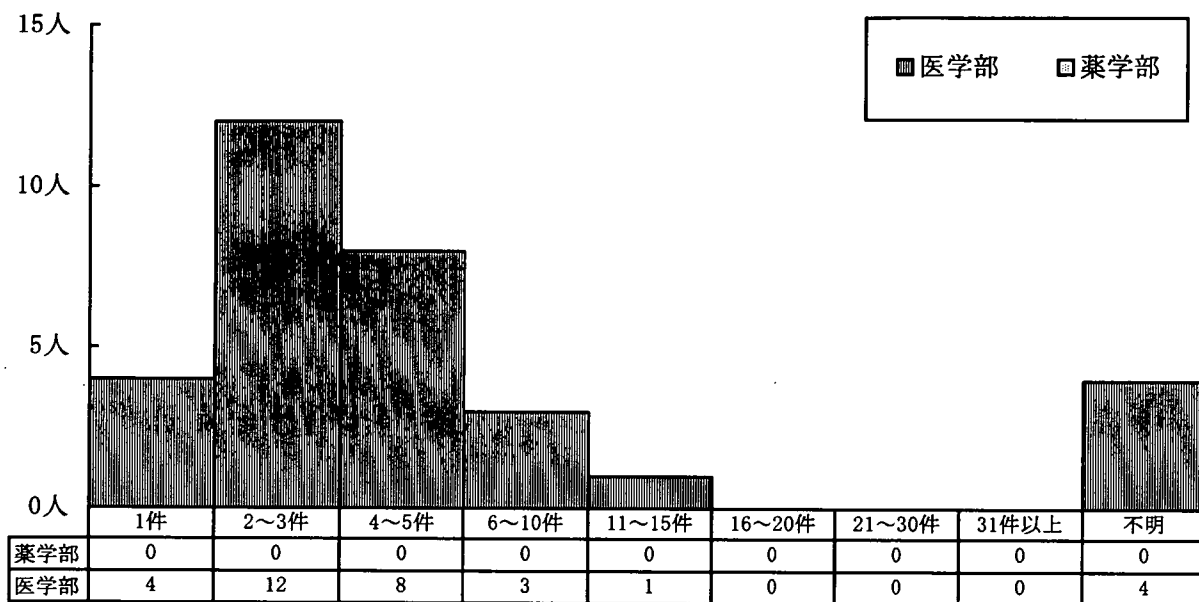
図 93 : 2006 年度に委託研究としての臨床研究（治験、市販後臨床研究を含む）を実施していますか。



②件数および金額

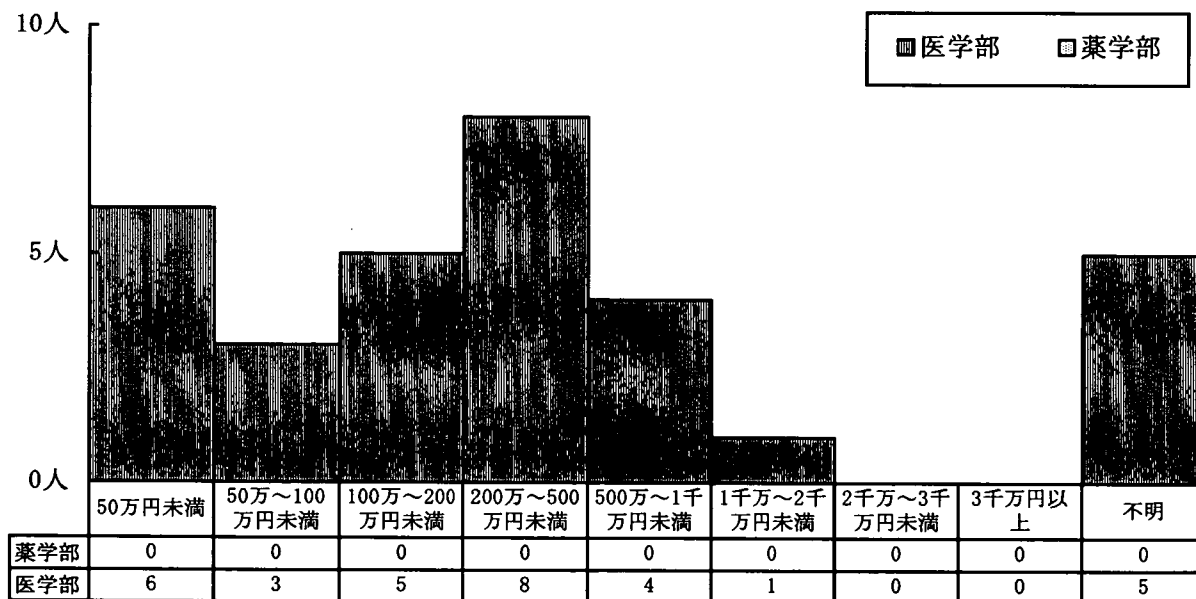
件数については、「2～3件」が12人で最も多い。「4～5件」も8人で多くなっており、10件以下の割合が多いことがわかる。

図 94：総額と件数をお答え下さい。(2006年度臨床研究)



金額については「200万～500万円未満」が8人で多い。「100万～200万円」も5人で多く、500万円未満の割合が多いことがわかる。

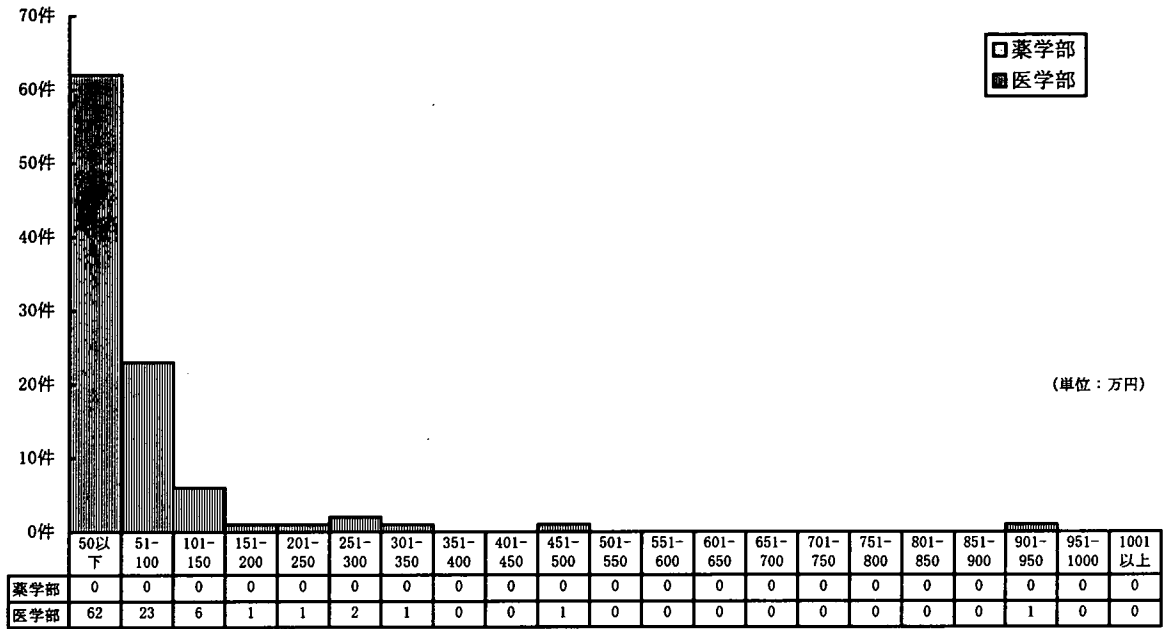
図 95：総額と件数をお答え下さい。(2006年度臨床研究)



### ③1 件当たりの金額と件数

1 件当たりの金額では「50 万円以下」が 62 件と多くなっている。1 件当たりでみると、比較的金額が少ないことがわかる。

図 96：1 件当たりの金額及びその件数を記載してください(1 万円以下は切り上げ)。





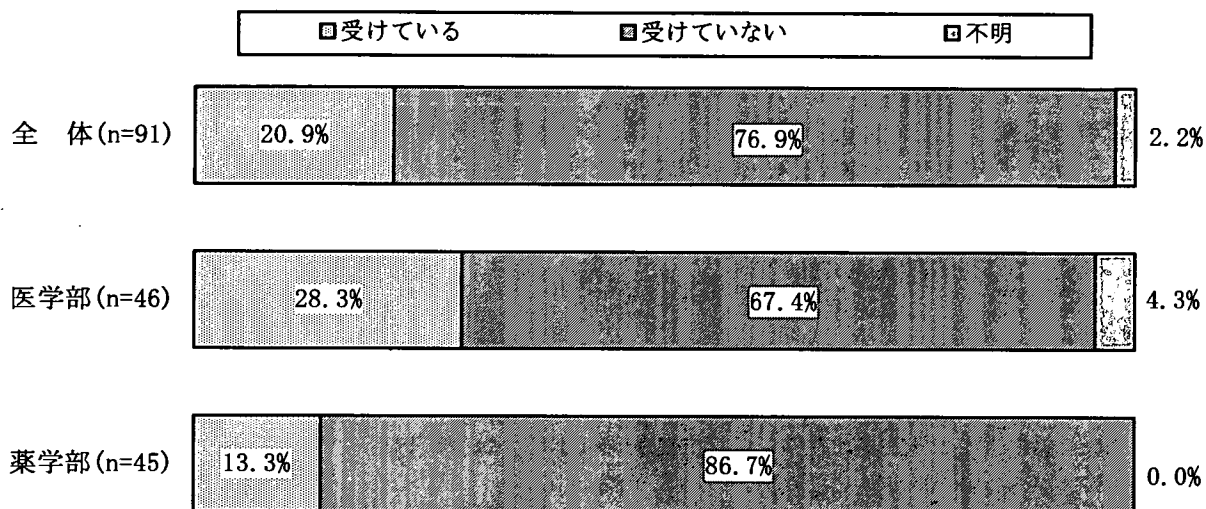
(11) 2006 年度の委託研究費（治験等の臨床研究を除く）について

①受領の有無

委託研究費（治験等の臨床研究を除いたもの）については、「受けている」が 20.9%、「受けていない」が 76.9%となっている。

学部別では医学部で 28.3%、薬学部で 13.3%が受けており、医学部で比較的受けている割合が高い。

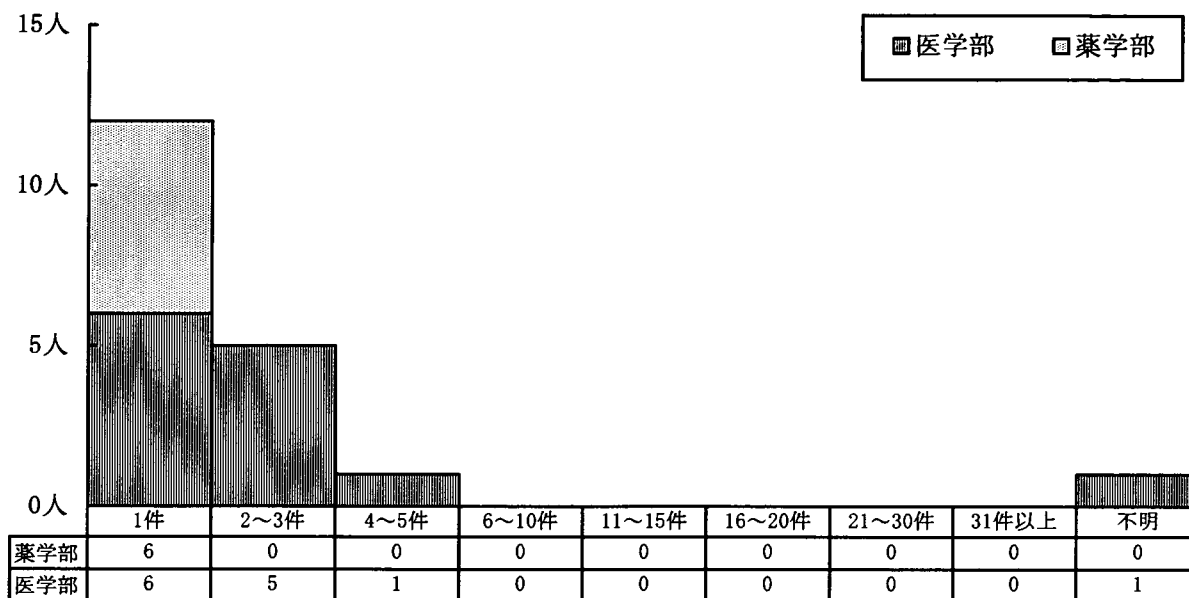
図 97：2006 年度に委託研究費（治験等の臨床研究を除く）を受けていますか。



②件数および金額

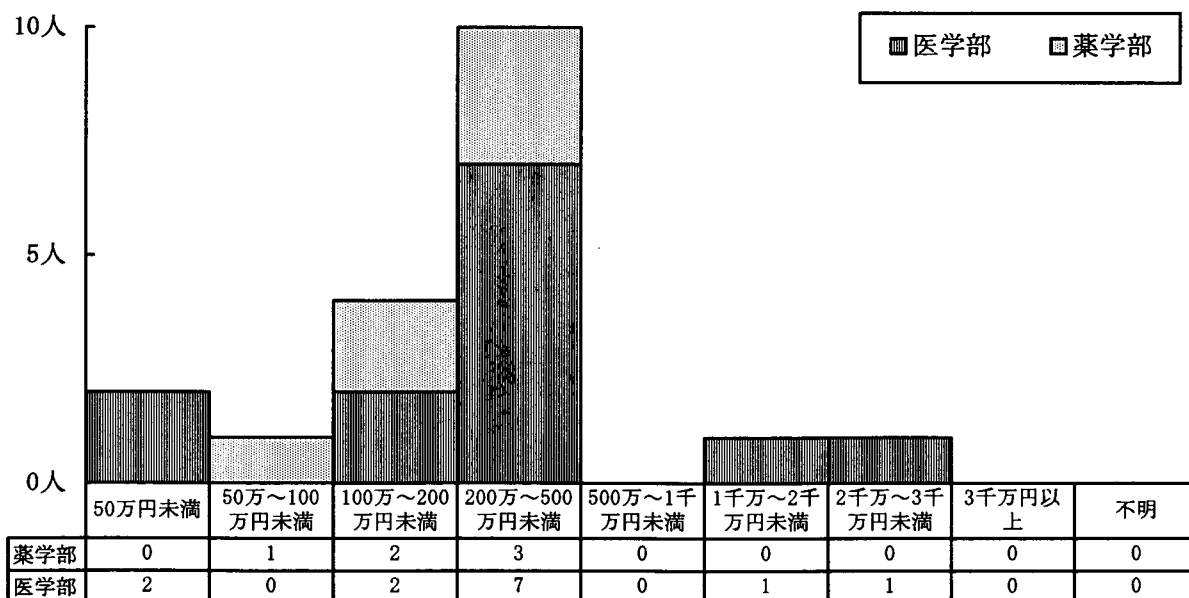
件数についてみると、「1件」が12人、「2～3件」が5人「4～5件」が1人となっており、全て5件以下となっている。

図 98：総額と件数をお答え下さい。(2006 年度委託研究費)



金額では「200万～500万円未満」が10人で最も多い。500万円を超える金額は全て医学部となっている。

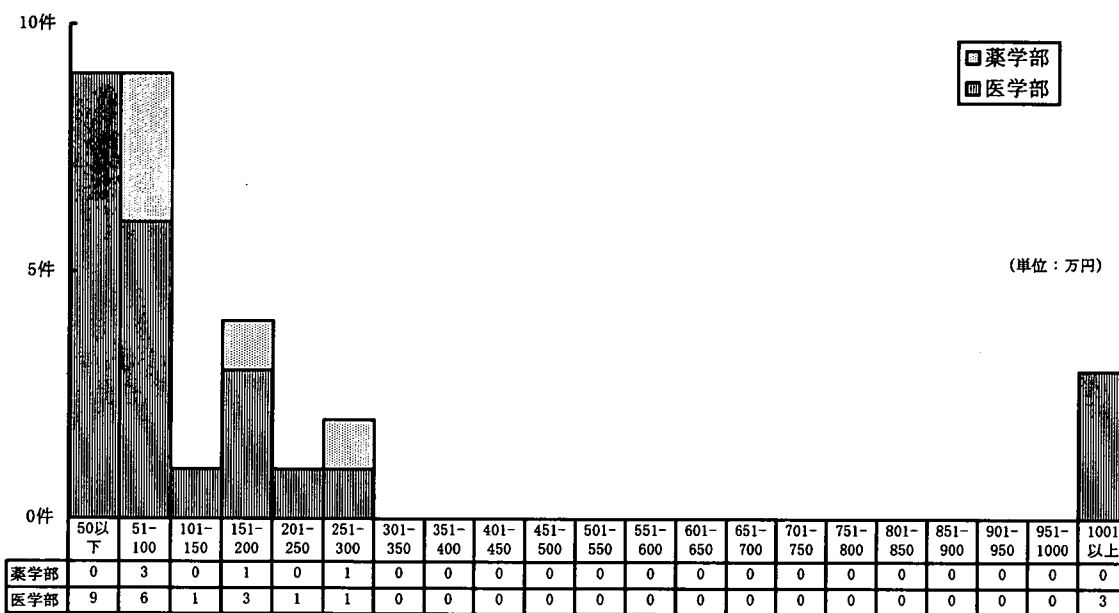
図 99：総額と件数をお答え下さい。(2006 年度委託研究費)



### ③1件当たりの金額と件数

1件当たりの金額では「50万円以下」と「51～100万円」がいずれも9件で多くなっている。100万円以下の割合が多くなっている。

図 100：1件当たりの金額及びその件数を記載してください（1万円以下は切り上げ）。



(12) 2006 年度の製薬企業からの講演料について

①受領の有無

製薬会社からの講演料については、全体で 49.5%とほぼ半数が「受け取っている」としている。受領の有無については、学部で差があり、医学部では 73.9%とほぼ 4 人に 3 人が受け取っているが、薬学部では 24.4%と受け取っているのは 4 人に 1 人以下となっている。

図 101 : 2006 年度に製薬企業より講演料を受け取っていますか。

